

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスいっぽいぽ宮下		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・経験年数5年以上の児童指導員加算体制	・職員が各自の強みを生かして業務に取り組んでいる ・随時話あいを行い支援を改善	・研修費支援により職員が児童指導員資格を取得できるよう にしたり専門性を高められる取り組みを行っております。
2	・2017年の開所から8年目となり子供たちも大きく成長して いることから、メンバーあわせてそれぞれが主体的にできるプ ログラム内容を変化させて実施しています	・発達年齢に応じて難易度を考えた役割を担ってもらっていま す	・子供たちと職員が話しあう機会を設けプログラムの内容を よりよく変化させていきます。
3	・災害時に備えた非常食を子供たちが試食する機会を定期的に 設け、より安心安全の体制を整えている	・非常食は可能な範囲で食べられるものをとりそろえていま す。非常食についてもアレルギー対応を準備しています。	・子供たちとも話あう機会を設け防災意識を高めながら安心 安全の準備にとりくみます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童館との交流は実施できておりません	強度行動障害の方にとっては交流の難易度が高いという問題 があります。激しい自傷につながる可能性が高く、メリットよ りデメリットが大きいう問題があります。また、個人情報の 観点から希望されない保護者の方がいらっしゃいます。	幅広い重症度の利用者の方を受け入れていることが、利用し ているこどもたち同士のインクルージョンの学びにつながっ ていると感じます。空きがある限り断らない支援を継続しま す。
2	事業所の行事に地域のかたを招待する等は実施できておりませ ん	強度行動障害の方にとっては交流の難易度が高いという問題が あります。激しい自傷につながる可能性が高く、メリットより デメリットが大きいう問題があります。また、個人情報の 観点から希望されない保護者の方がいらっしゃいます。	お出かけの際や公園にてすれちがったかたにはちょうどよい 挨拶するということをお子供たちに学んでもらっています。地 域で生活するうえのマナーを守り、ちょうどよい挨拶ができ ることをめざしています。
3			